

# 環境あきた

AKITA

## 県民フォーラム 通信 No.17

発行日:2005.9.26

発行/NPO法人 環境あきた県民フォーラム  
秋田県地球温暖化防止活動推進センター ACCCA  
〒010-1403 秋田市上北手荒巻字堺切24-2 遊学会(秋田県ゆとり生活創造センター)内  
TEL・FAX 018-839-8309  
E-mail:mail@eco-akita.org ホームページ:http://www.eco-akita.org/

2005  
秋号



秋 桜

森 吉

秋田市 仁別

森吉 桃洞の滝

稲 穂

### 目 次

第2回理事会	
第1回あきた環境優良事業所認定審査会 .....	2 ~ 3
会員活動紹介 .....	4
秋田県地球温暖化防止活動推進員 .....	5
トピックス .....	6 ~ 7
お知らせ .....	8



# 第2回理事会 第1回あきた環境優良事業所認定審査会

平成17年9月2日（金）遊学会会議室にて平成17年度第2回理事会、第1回あきた環境優良事業所認定審査会を開催しました。

理事会では、事務局から、都道府県センター事業の関係で、委託契約手続きや補助金交付決定が遅々として進まないという報告がありました。既に、全国センターからの委託事業である地球温暖化防止活動推進員研修事業は始まっておりますが、全国センターとの委託契約手続きが遅れております。また、環境省の補助金交付決定も遅れており、それらを待っている状況です。

また、8月24日に推進員研修事業として、小坂精錬(株)、(株)エコリサイクル、同和クリーンテックス(株)、花岡鋳業(株)の4事業所の施設見学が行われ、多少駆け足的なスケジュールの中でも、座学とは違いインパクトがあってよかったという意見が多かったということが報告されました。

## 今後の事業予定

10月1日（土）	・第5回あきたエコ&リサイクルフェスティバル 「あきた環境優良事業所認定証交付、認定事業所紹介」
10月2日（日）	・第5回あきたエコ&リサイクルフェスティバル ・秋田県地球温暖化防止活動推進員知識研修会 県央地区 環境あきた県民塾共催 秋田駅東口 アルヴェ 「地球環境問題」講師：岩谷忠幸氏 (NPO法人 気象キャスターネットワーク)
10月16日（日）	・秋田県地球温暖化防止活動推進員知識研修会 県北地区 環境あきた県民塾共催 北秋田市 ホテル松鶴 「地球環境問題」講師：井出迫 義和氏 (NPO法人 気象キャスターネットワーク)
10月23日（日）	・秋田県地球温暖化防止活動推進員知識研修会 県南地区 環境あきた県民塾共催 横手市 横手セントラルホテル 「地球環境問題」講師：高田 育氏 (NPO法人 気象キャスターネットワーク)
11月1～7日	・秋田県第128回種苗交換会温暖化防止ブース出展（鹿角市）
12月17日（土）	・温暖化防止シンポジウム（仮称） 秋田市文化会館大ホール 基調講演 講師：平井 信行氏 (NPO法人 気象キャスターネットワーク代表) 映画「デアフタートゥモロー」上映



理事会 in 遊学会



審査会

今年度第1回のあきた環境優良事業所認定審査会では、ステップ1に6事業所、ステップ2に2事業所の審査報告が上程され、いずれも審査の結果、認定されました。それぞれの事業所の取り組みは次ページ一覧となっております。

申請事業所のリサイクルに対する取り組みの評価で、県内同業者が連携を取れば、もっとリサイクル効率上がるのではないかと菊地英治県立大助教授のお話も聞かれ、参考になりました。

なお、10月1日（土）秋田駅前アゴラ広場で開催する第5回あきたエコ&リサイクルフェスティバルにおいて、ステージ上で午前10時過ぎから、今回認定された事業所への認定証交付と、昨年の第2回審査回で認定された事業所の紹介を行います。



象潟シーサイドホテル



ダイワ工業

## あきた環境優良事業所認定事業所

STEP 1	サロン・ド・ローマ（北秋田市）
STEP 1	マミヤ精密株式会社（象潟町）
STEP 2	羽州観光開発株式会社 象潟シーサイドホテル（象潟町）
STEP 2	ダイワ工業株式会社（金浦町）

上記4社の取り組み内容については、前号で紹介しています。

**クイズ 1** スーパーのレジ袋は、1年間で何枚ぐらいつくられている？  
約40億枚    約400億枚    約4,000億枚

## STEP 1 秋田協同印刷株式会社（秋田市）

目 取 り 組 み 標 記	1	日常業務における省エネルギーに努めます。	・パソコン等使用しない時は電源を切ります。 ・いきすぎた冷暖房はしません。
	2	ごみの減量に努めます。	・内部資料用紙としてコピー用紙の裏面を再利用します。 ・印刷業務における損紙節減に努めます。
	3	自動車燃料の節約に努めます。	・アイドリングストップに取り組みます。
事業概要	昭和16年 創立 ・カラー印刷（市町村勢要覧・広報・観光パンフレット・会社案内・タウン誌・各種カタログ・カレンダー） ・自費出版 ・書籍・帳票類 ・市町村史 ・各種製本 ・編集・企画・デザイン・撮影 ・ホームページ制作 関連会社 三傳商事株式会社 秋田日産自動車株式会社		

## STEP 1 アゼル ヘアー&エステ（由利本荘市）

取 り 組 み 目 標	1	省エネルギーの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冷暖房の温度管理を適切に行います。（冷房28度程度、暖房20度程度）</li> <li>・使用しない電気器具は、電源から抜き待機電力消費の防止に努めます。</li> <li>・省エネ型電気機器の使用（蛍光灯電球、e-マーク付機器）を促進します。</li> <li>・エアコン、掃除機等のフィルター、バッグはこまめに掃除します。</li> </ul>
	2	ゴミの減量化とリサイクルによる適正処理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理容用品は地域の分別方法に従い、適正に処理します。 ・使用済み用紙やチラシの裏面及び両面コピーを活用します。</li> <li>・理容用品は繰り返し使用できる容器に入った製品を購入するように努めます。</li> <li>・必要度の低い機器・器具の購入を止め、廃棄物の排出を抑えます。</li> </ul>
	3	環境に配慮した製品の使用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コピー用紙、トイレットペーパー等は再生材使用のものを購入します。</li> <li>・エコマークが付いた環境に配慮した製品を優先的に使用します。 ・環境汚染を発生させない理容用品を使用します。</li> </ul>
	4	環境保全活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内の下水掃除や道路の清掃など地域の環境保全活動に積極的に参加します。</li> <li>・理容店舗敷地内の清掃、整理整頓を実施し、花や植林を施し、二酸化炭素の吸収と環境美化に努めます。</li> </ul>
事業概要	1) 当店は、首都圏で利用技術の研修後帰秋し、平成15年6月に現在地に開店し、以来、男女・年齢を問わず、どなたでも気軽に来店いただき、「お客様に喜んでいただきたい」をモットーに頑張っており、今後もこのモットーを大切に、常に技術の研鑽をつけてまいります。 2) 予約制を採用し、予約はホームページ、Eメール或いはフリーダイヤルからも可能です。大切な時間とエネルギーを大切にしたいと考えております。 3) 「京都議定書」の批准にあたり、本店としても、環境問題への取組みを社会的責務と認識し、本店で実現可能なところから、省資源、省エネルギーそして地球温暖化防止の推進に努めます。		

## STEP 1 有限会社 サン・ねむの木（象潟町）

取 り 組 み 目 標	1	省エネルギーの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冷暖房の温度管理を適切に行います。（冷房28度程度、暖房20度程度）</li> <li>・適時館内の巡回を実施し、不要な照明を消灯します。 ・従業員室など客室以外の場所は極力適度の照度に保ちます。</li> <li>・使用しない電気器具は、電源から抜き待機電力防止に努めます。</li> </ul>
	2	ゴミの分別・減量化とリサイクルによる適正処理の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・厨房のゴミは地域の分別方法に従い、廃棄物とリサイクル物に分別します。</li> <li>・使用済み用紙の裏面及び両面コピーを活用します。 ・生ゴミは水分の除去と減量化に努めます。</li> <li>・厨芥、廃油用油などの産業廃棄物のマニフェスト管理を適正に行います。</li> </ul>
	3	環境に配慮した製品の使用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コピー用紙、トイレットペーパー、リネン等は再生材使用のものを購入します。</li> <li>・リターナブル容器入りの調味料、飲料、ビール類を購入します。</li> <li>・エコマークが付いた環境に配慮した製品を優先的に使用します。</li> </ul>
	4	（地域の）環境保全活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境保全の必要性について全従業員に教育訓練を実施します。</li> <li>・厨芥、廃油用油などの産業廃棄物のマニフェスト管理を適正に行います。</li> <li>・海水浴場の清掃など地域の環境保全活動に積極的に参加します。</li> <li>・事業所敷地内の清掃、整理整頓を実施し、環境美化に努めます。</li> </ul>
	5	環境に優しい自動車の使用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋田県のアイドリングストップ運動に参加し、アイドリングストップを心がけると共に燃料の節約に努めます。</li> <li>・従業員、とくに運転手に省エネ運転の講習を実施します。</li> </ul>
事業概要	1) 昭和53年12月、当時労働省の下部組織であった雇用・能力開発機構の教育及び厚生施設の一環として発足しました。その後平成15年4月に民営化され、有限会社組織を執り、現在に至っています。 2) 源泉は、九十九島の一つの苗代島より引き湯し、現在、頻繁に耳にする高血圧症・糖尿病などの「生活習慣病」などや、また、末梢循環障害・凍傷（しもやけ）などにも良く効く「ぬぐだまる湯」として皆様に愛されています。 3) 特に、海に近い利点を生かした、地元産の魚をふんだんに使った魚料理と、前に海、背後に鳥海山の勇姿を抱く勇壮な景色が気に入り、リピートされるお客さんも多くなりました。 4) 「京都議定書」の批准にあたり、当社として、環境問題への取組みを社会的責務と認識し、当社で実現可能なところから、省資源、省エネルギーの推進に努めます。 5) 環境保全、環境の継続的改善は、当社のようにエネルギー使用量の大きい事業所としては、その削減の効果は事業経営にも影響を及ぼす事柄であり、積極的に取り組んでゆきたいと考えます。		

## STEP 1 株式会社 梅菱建設（由利本荘市）

取 り 組 み 目 標	1	省エネルギーの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冷暖房の温度管理を適切に行います。（冷房28度、暖房20度） ・蛍光灯電球など省エネ型電気機器の使用を促進します。</li> <li>・使用しない電気器具は、電源から抜き待機電力消費削減に努めます。</li> </ul>
	2	ゴミの減量化とリサイクルによる適正処理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紙の使用量削減のため、裏紙の使用や両面コピーを活用します。 ・産業廃棄物は適法に処理します。</li> <li>・再利用又はリサイクルしやすい製品を優先的に購入・使用します。</li> <li>・廃棄物は、自治体の指示に従いリサイクル資源、廃棄物に分別します。</li> </ul>
	3	環境に配慮した製品の使用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文房具、コピー用紙、トイレットペーパー等は再生材使用のものを購入します。</li> <li>・エコマークが付いた環境に配慮した製品を優先的に使用します。</li> <li>・森林資源の破壊を防止し、活性化するため杉間伐材を使用します。</li> </ul>
	4	環境に配慮した自動車の使用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋田県のアイドリングストップ運動に参加し、アイドリングストップを心がけるとともに、燃料の節約に努めます。</li> <li>・従業員と省エネ運転及び不要な自動車使用の手控えを話し合います。</li> </ul>
	5	環境保全活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内の下水掃除や道路の清掃など地域の保全活動に積極的に参加します。</li> <li>・事業所敷地内の清掃、整理整頓を実施し、環境美化に努めます。</li> </ul>
	6	杉森林の環境保全の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林資源の破壊を防止し、活性化するため杉間伐材を使用します。</li> <li>・シックハウス対策として効果的な「ニシメクリンボード」の製販を推進します。</li> <li>・吸音効果を持ち、音響環境改善に役立つ「ニシメエーベラ」を製販します。</li> </ul>
事業概要	1) 当社は、昭和46年4月に創業し、平成3年9月に株式会社組織に法人化し現在に至ります。 2) その間、一級建築士事務所、建築業登録、住宅性能保証制度業者登録などを行い、平成14年には「中小企業経営革新支援法の適用承認」、平成13年に「ニシメクリンボード」の実用新案登録を受け、平成17年に「ニシメエーベラ」の特許申請中であり、中小企業として技術革新に挑戦しています。 3) 「ニシメクリンボード」及び「ニシメエーベラ」は、近年荒廃が懸念されている「杉森林資源保全」のため、杉間伐材を積極的に使用するとともに、用途としての「生活環境改善」に貢献したいと考えています。		

## 会員活動紹介

## 「燃やせばゴミ 分ければ資源」

(有)クリーンカンパニー

(有)クリーンカンパニーは産業廃棄物処分業者です。出羽グリーンロードを南下し、羽後町に入って間もなくの山間に(有)クリーンカンパニーという看板があり、会社名の下に「3Rショップ 古夢呼夢(コムコム)」とありました。

家屋解体の際に出る窓枠(サッシ)や玄関ドア、引き戸、それに味噌樽など、普通のリサイクルショップではお目にかかれぬものが置いてあります。味噌樽は風情のある花壇に再利用されているそうです。これらは、すべて燃やせばゴミになってしまうわけで、3Rを基本に循環型社会を目指している(有)クリーンカンパニーならではの取り組みといえるでしょう。事務所内の建具、ソファも廃棄されたものを再利用して「もったいない」を実践しているのがよくわかります。ソファの小さな傷は小学生の見学用に、そのまま使用しているという小野社長のお話でした。

敷地内に入ると、事務所脇のソーラーパネルが目を引きませんが、よく見るとのり面には古畳を貼り付けてありました。のり面の保護と緑化推進を図るためということです。

当社では、家屋解体の際に搬入される廃材を粉碎し、木質チップを生産しています。6mm以下の粒の細かいものが「クリーンウッドパウダー」、これは乾燥しているので畜産敷料のおがくずのように水分調整材として使われており、水分吸収効果が高いと評判です。また、大粒のもの「クリーンウッドチップ」は、紙・ボードの原料、田んぼ用暗渠被覆材として販売しています。このクリーンウッドチップに、関連会社の製品である「ウッドビネガー(木酢液)」を染み込ませた「ウッドビネガーチップ」は、畑の通路に敷くと雑草が生えにくい、虫が付きにくい、作物が元気になるという効果があるということです。これらは、第1回秋田県リサイクル製品として認定されています。(ウッドビネガーも秋田県リサイクル製品です)

新施設建設用鉄材もリサイクル材を使用しているようで、ここでも当社の徹底した3Rの方針が打ち出されています。

新しく基盤等の受け入れも始め、廃棄物処理業者ならではの幅広いリサイクルへの取り組みが期待されます。



廃材原料の木チップと木酢液



リサイクル材使用の新施設



ソーラーパネルとのり面に  
貼り付けた古畳

連絡先 (処分場) 秋田県羽後町新町字大又29-4

TEL : 0183 - 62 - 3155 FAX : 0183 - 62 - 3639

URL <http://www.h2.dion.ne.jp/%7Eclean-c/>

## 会員活動紹介

## 恒例のフリーマーケット開催！

秋田市環境活動推進協議会  
会長/岡部 勇作

秋田市土崎港のセリオン前広場で、8月21日(日) ことしも恒例のフリーマーケットが開かれました。

秋田市環境活動推進協議会が主催するもので、100区画以上の参加者があり、県内では2番目に大きな規模となっています。

当日は、曇り空でしたが、やはり会場が港だけあって風があり、街中に比べると、ずいぶんさわやかでした。

子供服から家庭用品、その他いろいろな品物が並べられ、訪れた人たちは熱心に品定めをしていました。



新鮮野菜の直売もあり！



セリオン前の広場 フリーマーケット

また、秋田市環境部の分別アンケート、ゴミ何でも相談のコーナーでは、「これは何ゴミ？」と聞きにくる方も多くいらっしゃいました。

一通り回った後に、新鮮野菜をゲットして満足げな家族連れも見受けられ、枝豆などは、あっという間に売れてしまいました。

連絡先 (事務局 秋田市環境部環境企画課内)

TEL : 018 - 863 - 6632 FAX : 018 - 863 - 6630

**クイズ 2** レジ袋はプラスチック、その原料の石油は、このまま使い続けると、どうなる？  
あと100年くらいでなくなる 1000年は大丈夫 新しい石油ができる

# 秋田県地球温暖化防止活動推進員

## 新しく仲間入り！ ● ● ● ● ●

平成17年7月12日、秋田市の遊学舎で平成17年度秋田県地球温暖化防止活動推進員委嘱状交付式並びに導入研修会が行われ、20名の意欲ある方々に県の委嘱状が交付されました。委嘱された任期は2年間で、継続更新している方々と合わせて84名の皆さんには、自らの活動を初め、それぞれの地域で積極的に温暖化防止の啓発活動を行っていただくことが期待されています。交付式で、県生活環境文化部の長沼隆参事が一人一人に委嘱状を手渡した後、導入研修として地球温暖化のメカニズムや対策について



省エネゲーム体験中

の知識を深めるためのDVDを見ました。この中で、日本の取組の1つにニッ井町の共有自転車の話題が取り上げられていました。

その後、省エネについて体感するための省エネ製品買い換えゲームをしていただきました。これはNPO法人足元から地球温暖化を考える市民ネットエドがわで出版している「Eco・エコ 省エネゲーム」で、300万円の資金をもとに家電や設備などを省エネのものと同じ買い換えて、今後10年間のCO<sub>2</sub>削減量を計算するというゲームです。

ライフスタイルを全く見直さないで、どれくらい省エネができるかというゲームですが、あらかじめチャレンジしてみた県の環境あきた創造課では、61.3%という立派なCO<sub>2</sub>削減率が出ていました。



県長沼参事より委嘱状交付

## 百聞は一見にしかず ● ● ● ● ●

平成17年8月24日(水) 秋田県地球温暖化防止活動推進員研修で小坂製錬(株)、(株)エコリサイクル、同和クリーンテックス(株)、花岡鉱業(株)の一連のリサイクル施設見学に出かけました。

大型バスで秋田駅前から出発し、途中で参加の推進員の方々も乗せて、総勢26名の施設見学になりました。当日は、晴天に恵まれ、暑すぎるほどでした。

小坂製錬(株)では、リサイクルで精製された金銀の延べ棒を間近で見せていただき、その重さにびっくり。また、自動車1台を解体すると約1gの白金がとれるということにも驚きでした。ゴミの山は、実は宝の山かもしれません。

新しく完成した最終処分場の見学では、遮水シートの構造説明があり、参加者の質問が集中していました。

午後は、次の目的地、大館市花岡地区のリサイクル施設に向かい、(株)エコリサイクルでは手作業の家電4品目の解体を目の当たりにして、迫力と音に圧倒されました。冷蔵庫から温室効果ガスのフロンを抜き出す行程についてわかりやすい説明があり、きちんと処理されていることを納得。

目的地が距離的に遠く、時間的余裕のない研修となってしまいましたが、やはり座学とはまた違って、百聞は一見にしかずの感がありました。



小坂鉱山事務所前で



金銀の延べ棒



完成した最終処分場



エコリサイクル見学中

## 3日間のレース終了 ワールドソーラーカーラリー

2005ワールドソーラーカーラリーの後半戦が7月30日、31日、8月1日の3日間、大潟村で行われました。

初日、二日目は曇りで雨もばらつく悪コンディションでしたが、最終日は今夏最高気温の暑い中、太陽電池、燃料電池、その両方を搭載したハイブリッド車などがスポーツラインを周回し走行距離を競いました。

総合では芦屋大学の「Sky Ace TIGA」が優勝、2年ぶりに新型ソーラーパネルを搭載して出場した成果があらわれました。

秋田県勢として、当法人理事長のチーム「Razarte Jonasun」も安定した走りを見せていました。

13年続いているこの大会、始まったころの関係者は多方面で活躍しているということです。今、ここでテントを張っている若者たちが、きっと地球の将来を何とかしてくれるだろうと期待しています。



曇天でもがんばってます

## 圧巻 燃料電池車 勢ぞろい!!

メーカー6社の燃料電池車6台の試乗ができるという「新エネフェスタin 大潟」が7月30、31日の2日間、大潟村のサンルーラル大潟敷地内で開催されました。

水素・燃料電池実証プログラムの一環として開催され、ワールドソーラーカーラリーに合わせた日程で行われました。



試乗を待って、ずらりと並んだ燃料電池車

1台つくるのに数億円といわれる燃料電池車が6台勢ぞろいし、一般見学者が試乗可能というこのイベントは東北では初めて開催されたということです。

この6台のほかに燃料電池の大型バスで村内の産直センターなどへの試乗も行われ、家族連れなどが早速乗り込んでいました。水素を分解して発電しエンジンを稼動する燃料電池車は排出するのは水だけです。普通のバスに比べると、独特なエンジン音はあるものの、とても静かで、当然のことながら排気ガスのいやなおいは全くありませんでした。

サンルーラル大潟の建物内では、小学生対象の体験教室が行われ、燃料電池モデルカーを製作し、カーレースを行って楽しく燃料電池について学びました。



体験教室で燃料電池モデルカー製作中

## ～ 緑の少年団が交流～

7月26日(火)・27日(水)の2日間、秋田市の太平山自然学習センター「まんだらめ」で秋田県内の12校の小学校から38名の児童が集い、緑の交流会が行われました。

交流会の初日は緑の少年団の活動発表が行われ、子どもたちが元気よく発表を行いました。

北秋田市立竜森小学校 緑の少年団は「守ろうよ 自然はぼくらの宝物」をテーマに竜の子学習林での植樹、下草刈り、雪の下になった木起こしなどを保護者や地域の方々と一緒にしている様子を発表し、さらに俳句や詩などに広げていることを1年生から4年生の6人の児童が元気良く発表し、秋田県知事賞を受賞しました。



知事賞 竜森小 緑の少年団

湯沢市立秋ノ宮小学校 杉の子隊は「喜びの森」をフィールドに森林教育を行い、ゴミのない美しい山、野生生物が元気に生育する山を目指して地域と交流し、また先輩たちから緑を守る役目のバトンを渡されていることへの誇りなど6年生の児童2人が発表し、秋田県教育長賞を受賞し

ました。素晴らしい発表の最後に、クリーンアップでタバコの吸殻が多く捨てられていることが残念だといわれたことは、本当に大人として恥ずかしいと思いました。

活動発表会の後、山ヒルの注意を受けて、森林観察に出かけました。森の案内人の方々を先生にグループで周辺の森で樹木の説明を受け、腐葉土でふかふかした道を歩き、ひんやりして美味しい空気を味わいました。

この後、野外炊飯やキャンプファイヤーで楽しい宿泊体験をし、27日は「水と緑の探検隊」に出発する予定でしたが、あいにくの台風の来襲予報で屋内のネイチャーゲームに変更になりました。

自然の中では子どもも大人も元気になるということが体験できました。



森の先生



教育長賞 秋ノ宮小 杉の子隊

## みんなで止めよう温暖化！



打ち水大作戦決行中！

秋田市通町商店街で8月27日午後5時半から「打ち水大作戦inあきた」を行いました。暑い夏を乗り切るためのささやかだけど効果的な昔からの知恵「打ち水」で地球を2℃下げちゃいましょう!! というイベントです。

当日は青年会議所メンバーが新屋の湧水をタンクに汲んできて、参加者は「冷たい水

ね」といいながら、商店街の歩道に打ち水をしました。やっぱり水遊びは子供たちにお似合いです。

来年の夏は、雨水や風呂の残り水などでトライしましょう。

また、秋田青年会議所では、CO<sub>2</sub>削減チェック項目に1週間取り組んでいただく「CO<sub>2</sub>削減ウィーク」も行いました。

これがきっかけになり、輪が広がればいいなあと思います。

(社)秋田青年会議所 <http://akitajc.jp/>



楽しそう！

## 大曲生活学校 県特別表彰受賞

平成17年8月29日、第41回県の記念日に地域課題の解決を通じた地域づくり活動が評価され、当法人会員団体の「大曲生活学校」が特別表彰を受賞しました。



表彰状を受け取る泉谷会長

泉谷明子会長は、「食の安全やゴミ減量化、マイバッグ運動など、地域に根ざしたさまざまな活動を行ってきましたが、仲間とともに継続したことが良かったの

でしょう」と話していらっしゃいました。

今後も、環境問題を初め、地域の活動に取り組んでいかなければと、意を強くされていました。

特別表彰では、防犯・防災活動の「秋田市児桜新生町内会」、森林とのふれあいによる地域づくりで「秋田森の会・風のハーモニー」の2団体も受賞しました。



受賞者の皆さん

## 森をつくろう！

8月31日、秋田市下浜の「健康の森」に、幼稚園や保育園児が集まって、森林再生のための苗木づくりを体験しました。



牛乳パックの苗木

秋田森の会・風のハーモニー主催で行われ、たくさんの子供たち、先生たち、地域のボランティアの方々、県立大学生、そして行政の皆さんが、一緒に森の中の散策を楽しみました。

当日は、朝から激しい雨でしたが、予定時刻を

過ぎるころから雨も上がり、カッパと長靴の子供たちは、泥だらけになりながら広場に到着。

最初は汚れた手や足を気にしていた子供たちも、葉っぱで手を拭いたり、だんだん森になじんで、走ったり転んだり元気いっぱい遊び始めました。

大人の手を借りながら、牛乳パックを鉢代わりにどんぐりの木を植え込んで、新しい森づくりのための苗木をつくりました。泥だらけ、でも得意げな子供たちの表情が印象的でした。



道なき道を登山？中！

## 予告！第5回あきたエコ&リサイクルフェスティバル、ことしも開催します。

秋田駅前アゴラ広場周辺で、10月1日(土)・2日(日)の2日間、家族、親子、お友達同士、当然、お一人でも楽しく環境について考えたり体験したりという楽しいイベントを行います。どうぞ、ご参加ください。

### 【事務局】

- ・秋田県環境あきた創造課 TEL: 018-860-1573 FAX: 018-860-3881
- ・特定非営利活動法人環境あきた県民フォーラムTEL/FAX: 018-839-8309

エコフェス絵手紙コーナー(昨年のような)▶





## 森林ボランティア募集!

森林整備の体験を行い、森林ボランティアとして活動したい方、大募集!

- ・羽後町田代 10月22日(土) 雄勝地域振興局森づくり推進課
- ・大館市長走 10月23日(日) 北秋田地域振興局森づくり推進課
- ・秋田市雄和 11月6日(日) 秋田地域振興局森づくり推進課

枝打ち、除伐、間伐などのメニューで森林ボランティア体験交流会を行います。各地区40名程度、締め切りは開催日の1週間前です。

問い合わせ・申し込みは.....

雄勝地域振興局森づくり推進課  
Tel:0183-73-5111 Fax:0183-72-5541  
北秋田地域振興局森づくり推進課  
Tel:0186-62-1445 Fax:0186-62-9855  
秋田地域振興局森づくり推進課  
Tel:018-860-3381 Fax:018-860-3386

## 秋季「白砂青松」復活 一斉行動のお知らせ

日時:平成17年10月16日(日)  
受付 AM9:00 作業 AM9:30~11:30

開催場所:由利本荘市 水林国有林内  
(駐車場)・本荘由利森林組合木工所「すぎまる」  
・本荘総合地方卸売市場協同組合駐車場

作業内容:クロマツ植栽(穴掘り、施肥、客土植栽、埋め戻し ほか)

服装:長袖、長ズボン、帽子、長靴またはトレッキングシューズ

問い合わせ・申し込みは.....

由利地域振興局農林部  
森づくり推進課森林整備第一班  
TEL:0184-22-8351  
FAX:0184-22-1176

持ち物:スコップ、バケツ

## 環境カウンセラーのつぶやき

内田純子

### 便利すぎる生活は人間をだめにする

人間の活動が地球を悪化させていることが、日々わかってきました。積雪と氷が広範囲に減少し、20世紀100年間で10~20センチの海面の上昇等、世界的に温暖化、それに伴う異常気象や自然災害が起きています。今後、温室効果ガスを安定させるためには、世界の炭素排出量を約70~80%削減しなければなりませんと言われています。

一方、世界最大の炭素排出国アメリカは1997年の京都議定書で温室効果ガス排出量を1990年から2008年~12年までに7%削減することを求められたにもかかわらず、2000年までに18.1%、量にして約2億3,500万トン増加させました。なんと1人当たりの排出量は、年間約5トンになります。そして、アメリカは経済の発展が最優先と途中で離脱しました。

では日本はというと、世界第4位です。京都議定書では6%の削減を目指しましたが、1998年は逆に5%増え、2005年現在もなお増え続け、最終目標数値が14%になっています。早急にCO2の削減をと、頭で理解していても行動が伴っていないの

が現状です。実際、家庭からの排出量が20%に対し、事業所からは80%と言われており、私一人が努力してもという思いがあります。しかし、身の回りの物や便利な道具等を作る際にCO2が排出されています。

また、視野を広げると、全世界62億人中18億もの方が電気を使わない生活をしているそうです。今、私たちに必要なことは欲望を抑え、地球全体のことを見極め、1つでもできることを実践することだと思います。早寝早起き、マイバック持参、使い捨て商品は買わない、自動販売機での購入を控える、車に頼らず、できるだけ歩く等、何でもいいのです。物に頼らず、自分の力を使うことで健康になり、健康こそが物質主義的価値観からの脱出だと思います。便利すぎる生活は人間をだめにします。自分の力を信じて、自然が持続可能な環境、経済を目指したいものです。



エコライフの教室で不要紙のなべ敷き作成中

## 入会について あなたも参加しませんか

会費

区分	社員	一般会員
企業・企業関係団体	1口:1万円 年1口以上	1口:1万円 年1口以上
個人・民間団体	1口:3千円 年1口以上	1口:1千円 年1口以上

会費納入について

秋田銀行 県庁支店 普通 560425 北都銀行 山王支店 普通 6099633  
郵便振替口座 02280-7-76146

いずれも特定非営利活動法人 環境あきた県民フォーラム宛です。

なお、フォーラム通信送付の都合上、銀行振込の場合は事務局にご住所、お名前をご連絡ください。

未来の子もたちのために、秋田の環境をよりよくしていこうという活動の応援団です。当法人の活動やこのフォーラム通信発行のために会費を負担していただいています。

## NPO法人 環境あきた県民フォーラム 秋田県地球温暖化防止活動推進センター ACCCA

〒010-1403 秋田市上北手荒巻字堺切24-2 遊学舎(秋田県ゆとり生活創造センター)内  
TEL・FAX 018-839-8309 Eメール mail@eco-akita.org ホームページ http://www.eco-akita.org/

ストップ!温暖化

事務局から

最近の台風は大型化していて被害も大きい。アメリカのハリケーン被害も目を覆うほど...  
普段の雨の降り方だって、風の吹き方も、何だかみんな極端だって気がする。アトムの世界みたいに、ドームの中でなきゃ人間生きていけなくなるんだろうかって、そこまで人類が頑張れるのか疑問... (o\_ \_)o う~む

## クイズの答え

- クイズ1... 日本で1年間につくられるレジ袋は400億枚以上。それに必要な石油は約6.4億リットル。
- クイズ2... 石油は昔の生物の死骸が何万年もかかって変化したもの。
- クイズ3... プラスティックは自然の中では腐りません。

出版「エコマークをみつけてみよう!」第3巻